

## 新年早々 徒然なるままに

### <1> にくらしいはなし

高度成長時代に、安い値段で・待ち時間少なく・牛肉料理が食べられることから、カウンターで食べる牛丼屋が「旨い・速い・安い」をキャッチフレーズにした。

仕事先から仕事先へと慌ただしく走り抜けていた頃、移動中にポイと立ち寄って、待ち時間なく出てくる飯を、サッと食べる。時には昼食をとりそこなうこともあった仕事の関係上、早食いの私の昼飯としては随分役に立ったことがある。

昭和 30 年代には、牛肉は庶民にとって「あこがれの的」の食べ物だった。昭和 40 年代から少しずつ多くの人が食べられる食材に変わり始めたが、まだ高価な食べ物という印象が強かった。

そして、かの牛丼屋が登場し、「牛肉が沢山のっついて」「こんなに安い値段で」食べられるとして注目を浴びて、全国展開のチェーン店が広がった。

やがて牛肉は誰でも食べられる食べ物と化し、輸入物と国産品とのせめぎ合いなどにも達し、今日に至るわけである。

この牛丼チェーン店が現在でも生き残っているのは色々な意味で不思議ではあるが、駅前や国道沿いの店の前を通ると、鳥丼・豚丼・定食などなど様々なメニューの外食店に生まれ変わっていた。

### <2> 速いものにはご用心

新幹線の台車に亀裂が入っていたにも関わらず、時速 270Km で何百 Km も爆走していたという恐ろしい事実が公表された。しかも、前兆と思える症状がいくつも発見されていたと言うから、驚くばかりである。あのまま走り続けて、「新幹線 浜名湖鉄橋の上で脱線転覆」という円谷プロの映画に出てきそうな大事件になっていたかもしれないと考えると、背筋に冷たい物を感じざるを得ない。

「我が国の高い鉄道技術を他国に売り込んで行こう」という動きが活発になっているようだが、本当に「高い鉄道技術」なのだろうかと首を傾げたくなる。「ものを造る技術」だけでは意味がなく、それを「維持管理していく技術」が伴わなければ「高い技術」と言うことは出来ない。

一方国内では「リニヤモーターカーを使用した新しい超高速鉄道」の実現に向かって様々な動きが始まったが、こちらは「大手ゼネコンによる談合」という事件が報じられた。名だたる企業名が並ぶ影には政治家が絡んでいない筈がないと思うのが「国民の目」。

談合もさることながら、東京から大阪まで 3 時間かからずに移動できるようになった現在、さらに移動時間を縮めて行く必要性がどのくらいあるのだろうか。難しい土木工事を積み重ねて、磁石の塊のような物体を爆走させて、自然環境にも大きな影響を与えて、枯渇が危惧されたこともある電力に多大な期待をかけて……。

実現する頃には、人口の減少は顕著で労働人口は激減して……。

### <3> しょうがない

雪が降った、電車が遅れた、電車が止まった、高速道路が事故で渋滞……。

鉄道会社が謝る、高速道路が謝る、役所が謝る。近頃簡単に謝罪する場面が多すぎはしないだろうか。国外で何らかの事故が発生した場合、謝ると言うことは「私に全責任があります」を意味し、「それにより被害への対処は私が責任をとります」を意味することになるので、よほどのことがない限り簡単に謝ってはいけないと教わったことがある。謝るときは、「どの部分に私の責任があるのか？」をはっきり示して謝るべきであると添えられた。

「雪が降って通常で速度で運行できなくなった鉄道」は、場合によったら鉄道会社には責任はないこともある。ただし、そのような場合に「とるべき対応策がきちんとはとられなかった」のは鉄道会社に

責任があるだろうが。

落語「天災」の中で、長谷川町の新道に住む紅羅坊名丸（べにらぼうなまる）先生が、短気な人を諭す言葉「何事も天災とあきらめれば腹も立たぬ」を思い出す。

些細なことに拘りすぎず「しょうがない」と思う心も必要だなと感じる出来事が、近頃目立ってきた。

#### <4> 忘れさせてくれない

「XXX の事件から 1 週間」、「XXX から一ヶ月」、「XXX 災害から 50 日」・・・

何か大きな事件が起きると、テレビではしばらくの間こんな報道や特別番組を組むことが多い。

「事件を風化させないために・・・」というフレーズが付くことが多い。有る事件がもたらした問題を後の世に正しく語り継いで行くのは意義有ることだと思う。

テレビ局が組み立てた番組を見ていると、「片時も忘れたことがない・・・」「何故死ななきゃならなかったの・・・」「・・・はまだ謝罪の言葉を聞いていない」などなどのセリフが必ず登場し、視聴者にも訴えかけるシーンが少なくない。

見ている人が哀れさを共有でき共感を持つという効果はある。しかしながら冷静に振り返ってみると、事件の渦中にいた人の中には、「少しでも早く忘れたい」、「次の人生に向けて早く立ち直りたい」と思う人もいるのではないだろうか。そんな人達にとって、こういう番組は傷口を逆撫でされるように感じることもあるかもしれない。

番組の作り方には、かなりの工夫と配慮が必要だろうなと感じることがある。

#### <5> オリンピック？ Oh,No!!

「2020 年東京オリンピック・パラリンピック」を目指して、外国人を迎え入れるべく様々なインフラを整備する動きが激しくなってきた。

しかしながら、よくよく話を聞いてみると「何故オリンピックだからやるの？ オリンピックと関係なくやるべきことだったのではないの？」と感じるものが多い。

さらに、「何故外国人のためにそんなことまで整備するの？ 日本人に対してさえ何ら手も打たれてこなかったのに」というケースもかなり見受けられる。

そして、それらが殆ど財源根拠もなく追い風に乗って「公債を発行してまかなう」ものだとしたら、結局は将来に負の財産を残すことになるとしたら・・・。

お囃子に乗って踊りまくる人、踊る人を見て飛び入りでその輪に加わる人、その輪がどんどん大きくなって・・・、恐いと感じる「冷静な人」がいないことが、もっと恐い。

以上